



研究テーマ

1 イシサンゴ類の分類・系統

2 高緯度域サンゴ群集の研究

3 サンゴに共生・寄生する無脊椎動物の研究



深見 裕伸

ふかみ ひろのぶ
農学部
農学部門海洋生命科学領域

教授

キーワード

サンゴ礁、イシサンゴ、分類、系統、進化、共生、水温上昇、環境

特許情報・
共同研究・
応用分野など

研究概要

サンゴ類およびサンゴに共生する無脊椎動物の分類、系統、進化といった分野から、環境の変化がサンゴ群集にどのような影響を及ぼしていくのかといった生態学的な分野までサンゴに関わる全般を研究。

1 イシサンゴ類の分類・系統

近年、サンゴ礁の保護が盛んになってきているが、サンゴ礁を形作っているイシサンゴ自体の分類があまりに曖昧で難いため、研究者を含めてほとんどの人が種まで同定できず、保護しようとする現場にどのような種が生息しているのか正確に判断できないでいる。そこで、分子系統解析と形態解析を総合し、混乱しているこのイシサンゴの分類体系を整理し、再構築していく。

2 高緯度域サンゴ群集の研究

一般的にはほとんど知られていないが、沖縄以外でも、九州から和歌山までの黒潮沿岸、および壱岐・対馬周辺までの対馬暖流沿岸の高緯度域には、非常に多くの造礁性イシサンゴ群集が見られる。場所によっては、見渡す限りイシサンゴという所もある。しかしながら、これまであまり研究されていないため、どのような種類がいるのか、どのようにその群集が維持されているのかなど分からないことばかりである。さらに、近年の水温上昇の影響で、南方種がどんどん高緯度域に移入してきているといわれているがその実状は不明である。そこで、高緯度域サンゴ



(写真) 宮崎県串間市沖のイシサンゴ群集

3 サンゴに共生・寄生する無脊椎動物の研究

サンゴ類は、その外部形態の多様さ、さらに石灰質の骨格が周辺の岩より柔らかいという特徴から、多くの無脊椎動物がサンゴの内外に生息している。ある種はサンゴを食し、ある種はサンゴの生存に役立っている。ただ、未だ分かっていないことの方が多く、それらを知るために、これらの無脊椎動物がどのようにサンゴに関わっているのかを研究している。

ホームページ

技術相談に応じられる関連分野

メッセージ